



地域とともに成長。

すみだ北斎美術館 本日累計入館者数50万人を突破！

2018年7月31日(火)午後、すみだ北斎美術館(亀沢2丁目7番2号)の累計入館者数が2016年11月22日の開館以来、50万人を突破した。

記念すべき50万人目となったのは、台東区在住の加藤順子さん(52)と、長女のさやさん(12)親子。中学1年生のさやさんの夏休みの美術の課題に取り組むため、来館したとのこと。今回50万人目の入館者となり「率直にびっくりしました」と驚いていた様子だったが、順子さんが以前から北斎のファンとの事で「今回の50万人目という節目に来館でき、とても光栄です」と話していた。

年間パスポート、当館図録や、現在開催中の「ますむらひろしの北斎展 ATAGOAL × HOKUSAI」の図録等の記念品を贈呈された順子さんは、「娘にはアタゴオルの世界をきっかけに、日本が誇る浮世絵師に興味を持ってもらいたいです。」と語った。

橋本館長からは「開館して1年8カ月で50万人を達成したのは、ひとえに地域と北斎ファンの皆さまのたまものと、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、支えてくださった方々とともに、国内はもとより、世界中に北斎の魅力を伝えていきたい」と話した。

今後も同美術館では、様々な企画展やイベント、講座活動などを実施し、北斎の作品鑑賞に留まらず、国内外に向けて幅広く楽しんでいただける施設運営を展開していく。

<すみだ北斎美術館について>

世界的な画家として評価の高い葛飾北斎は、宝暦10年(1760年)に本所割下水付近(現在の墨田区亀沢付近)で生まれ、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしながら、優れた作品を数多く残した。墨田区では、この郷土の偉大な芸術家である北斎を区民の誇りとして永く顕彰するとともに、地域の産業や観光へも寄与する地域活性化の拠点として、平成28年11月22日に「すみだ北斎美術館」を開館した。この美術館では、北斎及び門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどについてわかりやすく伝えていくため、展示会をはじめ様々な普及事業を開催。そして、これらの事業活動を通じて国内外に向けて情報を発信し、北斎と「すみだ」の魅力をより一層高めしていく。「北斎顕彰を通じて地域に愛着を深める場」「区民の生涯学習の場」「地域活性化の拠点(観光、産業への寄与)」「国内外に向けた情報発信と交流の場」を設置目的としている。※2017年9月8日に累計来館者数30万人を達成。

<「ますむらひろしの北斎展 ATAGOAL × HOKUSAI」について>

猫と人との理想郷を描いた漫画「アタゴオル」シリーズで知られる ますむらひろし。「アタゴオル×北斎」は、同シリーズに登場するキャラクターが北斎の浮世絵に入り込んだ異色の作品。本展では北斎の版画にますむら流のユーモアが加わった「アタゴオル×北斎」を中心に、「アタゴオル」シリーズの漫画原稿やイラスト作品、そしてますむらのイメージの源泉となった北斎の作品を、当館が所蔵する北斎作品等で紹介している。

【会期】2018年6月26日(火)～8月26日(日)

※前期：終了、後期：7月31日(火)～8月26日(日) ※前後期で一部展示替えあり

【開館時間】午前9時半～午後5時半(入館は午後5時まで)

【観覧料】(個人)一般：1,000円、高校生・大学生：700円、65歳以上700円、中学生300円、障がい者300円

【本件に関するお問い合わせ】：すみだ北斎美術館 広報グループ 中原・小川

TEL：03-6658-8991 Mail：hm-pr@hokusai-museum.jp



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館